

令和8年用ねぎ病害虫防除基準

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：JAさがえ西村山
さがえ西村山野菜振興協議会

害虫防除【殺虫剤】

作業	R A C コード	薬剤名	使用方法				対象病害虫					注意事項	
			倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	アザミ ウマ類	ハモグリ バエ類	ネギガ	シロイチモ ジヨトウ	ネキリ ムシ類	ネダニ類	
播種期	28 4A	ジュリボフロアブル	200倍	灌注	育苗期後半 ～定植当日	1回	ネギ ●	ネギ ●			●	●	●登録：タネバエ ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壤約1.5～4L）当たり0.5L
定植時	1B	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a	全面土壤混和又は作条土壤混和	は種時又は定植時	2回以内							●登録：コガネムシ類幼虫
	3A	フォース粒剤	9kg/10a	作条土壤混和	定植時	1回				●	●		●登録：クロバネキノコバエ類
	4A	スタークル顆粒水溶剤	50倍	灌注	定植前日 ～定植時	1回	●	●	●	●			●登録：タネバエ ペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壤約1.5～4L）当たり0.5L
定植時～生育期 (株元散布)	4A	ダントツ粒剤	6kg/10a	植溝処理 土壤混和	植付時	1回	ネギ ●	ネギ ●					●登録：タネバエ
			6kg/10a	株元散布	3日前まで	4回以内	ネギ ●	ネギ ●			●		※クロチアニジンを含む（ダントツ）総使用回数は4回以内 (定植時までの処理は1回以内)
	4A	ペストガード粒剤	6kg/10a	植溝処理 土壤混和	定植時	1回	ネギ ●	ネギ ●					●登録：クロバネキノコバエ類
生育期	3A	アグロスリン乳剤	2,000倍	100～300ℓ	7日前まで	5回以内	●	ネギ ●	●				●登録：アラムシ類、シロイチモジトウ（1,000倍）
	21A	ハチハチ乳剤	1,000倍	100～300ℓ	7日前まで	2回以内	●	ネギ ●	●	●			●登録：さび病、べと病、アラムシ類、クロバネキノコバエ類
	30	グレーシア乳剤	2,000倍	100～300ℓ	7日前まで	2回以内	●	●	●	●			●登録：クロバネキノコバエ類
	UN	プレオフロアブル	1,000倍	100～300ℓ	3日前まで	4回以内	ネギ ●			●			
	6	アグリメック	1,000倍	100～300ℓ	3日前まで	3回以内	●	ネギ ●					
	9B	コルト顆粒水和剤	2,000倍	100～300ℓ	3日前まで	3回以内	ネギ ●	ネギ ●					●登録：アラムシ類
	28	ヨーバルフロアブル	2,500倍	100～300ℓ	3日前まで	3回以内	●	●	●	●			●登録：クロバネキノコバエ類
	5	ディアナSC	2,500倍	100～300ℓ	前日まで	2回以内	●	ネギ ●	●	●			
	30	プロフレアSC	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	3回以内		ネギ ●	●	●			

病害防除【殺菌剤】

作業	R A C コード	薬剤名	使用方法				対象病害虫					注意事項	
			倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	べと病	さび病	軟腐病	白絹病	小菌核 腐敗病	葉枯病	黒斑病
播出後	M5	ダコニール1000	500倍	0.5L/m ² 土壤灌注	出芽揃い後 (出芽3日 後から10 日後まで)	1回							●登録：苗立枯病（リゾクトニア菌） ※ペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壤約5L）当たり0.5L
1	トップジンM水和剤	250倍	苗床灌注	定植直前	1回					●			※チェーンポット1冊（30×60cm、使用土壤約5L）当たり0.5～1L
11 2	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	株元土壤混和	45日前まで	1回	●	●		●				●登録：黒腐菌核病 土寄せ時
P2	オリゼメント粒剤	6kg/10a	株元散布	30日前まで	2回以内			●					土寄せ時
3 M3 UN	テーク水和剤	600倍	100～300ℓ	14日前まで	3回以内	●	●				●	●	
M5 40	プロボーズ顆粒水和剤	1,000倍	100～300ℓ	14日前まで	3回以内	●					●		※TPNを含む（プロボーズ、ダコニール）総使用回数は4回以内 (土壤灌注は1回以内、散布は3回以内)
M5	ダコニール1000	1,000倍	100～300ℓ	14日前まで	3回以内	●	●			●	●	●	
24 M1	カスミンボルドー	1,000倍	100～300ℓ	14日前まで	2回以内			●					
31 24	カセット水和剤	1,000倍	100～300ℓ	14日前まで	2回以内			●					※オキソリニック酸を含む（カセット、スターナ）総使用回数は3回以内
31	スターナ水和剤	2,000倍	100～300ℓ	7日前まで	3回以内			●					
2	ロブラー水和剤	500倍 1,000倍	1L/m ² 株元灌注 100～300ℓ	14日前まで	3回以内				●	●			●登録：ボトリチス葉枯症
49 40	オロンディスウルトラSC	2,000倍	100～300ℓ	7日前まで	2回以内	●							
7	アフェットフロアブル	1,000倍 2,000倍	1L/m ² 株元灌注 100～300ℓ	14日前まで	2回以内			●					●登録：黒腐菌核病
7		4,000倍	100～300ℓ	前日まで	2回以内	●		●	●	●	●	●	●登録：小菌核病 ●登録：黒腐菌核病（株元散布）
11	アミスター20フロアブル	2,000倍	100～300ℓ	3日前まで	4回以内	●	●				●	●	●登録：リゾクトニア葉鞘腐敗病 黄斑病
11	メジャーフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	3回以内	●	●		●	●	●	●	●登録：小菌核病 黒腐菌核病
U18	バリダシン液剤5	500倍	100～300ℓ	前日まで	2回以内			●	●				※白絹病は株元散布、軟腐病は散布
M1	クプロシールド	1,000倍	100～300ℓ	—	—	●		●					

除草剤使用基準

薬剤名	RAC	10a当り薬量/散布量	使用時期	使用方法	使用回数	適用雑草	特 性
ゴーゴーサン乳剤	3	200～300mℓ/70～100ℓ	定植後（雑草発生前） (定植10日後まで)	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・土壤が過湿の場合は使用しない。 ・キク科雑草およびツユクサには効果が劣る。
トレファノサイド乳剤	3	200～300mℓ/100ℓ	定植後雑草発生前 (収穫30日前まで)	全面土壤散布	2回以内	一年生雑草	・トンネル・ハウス栽培ではガス化による薬害のおそれがあるので使用しない。 ・ツユクサ科、カヤツリグサ科、アブラナ科、キク科雑草には効果がない。
クレマート乳剤	3	200～400mℓ/100～150ℓ	定植活着後雑草発生前 (定植10日後まで)	全面土壤散布	1回	一年生雑草	・ガス化しない
ロロックス	5	100～150g/70～150ℓ 75～150g/100ℓ	定植後（雑草発生前） (但し、収穫30日前まで) 定植30日後以降中耕培土後 (雑草発生抑制期)（但し、収穫30日前まで）	畦間土壤散布 雑草茎葉散布 又は全面散布	1回	一年生雑草 一年生広葉雑草	・イネ科雑草多い場合、他剤との混和が望ましい。 ・砂質土壤では使用しない。
ナブ乳剤	1	150～200mℓ/100ℓ	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期）(収穫30日前まで)	雑草茎葉散布 又は全面散布	1回	一年生イネ科雑草	・遅効性で枯死するまで7～10日必要。イネ科作物に薬害飛散に注意。 ・スズメノカタビラには効果がない。
バスタ液剤	10	300～500mℓ/100～150ℓ	雑草生育期：耕起前、定植前 または畦間処理（収穫前日まで）	雑草茎葉散布	2回以内	一年生雑草	・非選択性、スギナに効果高い
ラウンドアップマックスロード	9	200～500mℓ/50～100ℓ	雑草生育期：定植後畦間処理 (収穫30日前まで)	雑草茎葉散布	3回以内	一年生雑草	・非選択性 ・吸収移行型除草剤